



第号 59 号平成 29 年 7 月吉日
ほどがやカルガモの会
広報委員会 発行

〒240-0006

横浜市保土ヶ谷区星川 1-12-6

メゾンベジタブル 1 階

TEL 045-342-0433

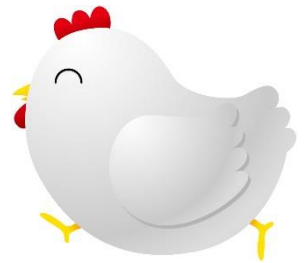
E-mail: karugamo-kai@minos.ocn.ne.jp

新年明けましておめでとうございます。

今年は酉年。夢をトリに行きましょう！！（大尾 理事長）

★ 新年の抱負

- | | |
|--------|---|
| 村上： | 出来るだけ歩いて、体力をつける |
| 早川： | 歩くこと |
| 荒木： | 間食をしないで、ベスト体重をキープする |
| 松倉： | 性格はより明るく、ダイエットを頑張る(10 kg減) |
| 酒井： | 体調管理・健康維持 |
| 池田(正)： | ダイエット・現状維持 |
| 川口： | ダイエット(2 ケタを目標) |
| 櫛毛： | ポッチャ大会で上位を目指す |
| 菅原： | 体力をつける |
| 石原： | 出来るだけ歩くようにする |
| 柴田： | 出来るだけ明るく、過ごしたい、おしゃべりを楽しむ |
| 福島： | 健康管理に注意する |
| 池田(ト)： | 卒業した後は、通所リハビリで頑張る |
| 井上(文)： | 毎日カルガモに通えるよう、体調を整える |
| 桂： | 現状維持 |
| 菊池： | リハビリの先生に教わった体操を頑張り、
少しでも自分の力で、センターに通えるようにしたい |



餅つきと、ゆめバザーに出店

1月8日(日)に地域活動ホーム『ゆめ』にて、バザー出店しました。当日は午前10:00からの販売開始に併せて、9:00に事務所に集まり、搬入及び販売準備を行いました。バザー会場には、6ヶ所の障害者施設が出店しました。

11:00頃までは、アトラクションと重なった為、お客様が少なかったのですが、その後は徐々にお客様も増え、売り上げを伸ばしました。販売スペースが狭いため、1時間交代でメンバー2名が担当しました。職員・ボランティアさんは、最初から最後までご苦労様でした。

製品管理委員 川口

ボランティア感謝祭

2月15日、恒例のボランティア感謝祭が行われました。当日は普段よりご支援頂いている、ボランティアさんへ心を込めておもてなしをしました。又「ピンゴ大会」は大変盛り上がり、時間のたつのも忘れるくらい、楽しいひと時を過ごすことができました。私達カルガモの会の活動は、何をするにも、ボランティアさんのご支援がなくては成り立ちません。日頃のご支援心より感謝いたします。お願いいたします。

交流委員 池田(正)

リハビリ教室との交流会と修了式



3月2日(木)リハビリ教室の皆さんが、カルガモの会にいらっしゃいました。交流を深めるために「ポッチャ大会」が行われました。毎月ポッチャ大会を行っているカルガモの会のメンバーでしたが、リハビリ教室の皆さんも、色々な手法を使って大活躍でした。優勝は早川さん、準優勝にリハビリ教室の伊藤さん、3位は池田(正)さん、ブービー賞は、リハビリ教室の鈴木さんでした。その後、今年修了の鈴木伸二さん、水野裕子さん、角田久美子さん、渡辺昇さんの4名が、3月からカルガモの会へ入会されるということです。賑やかになると思います。どうぞ宜しくお願いします。

広報委員 荒木

保土ヶ谷ポッチャ大会に出場

3月5日(日)午後1:00から、保土ヶ谷スポーツセンターで、保土ヶ谷区のポッチャ大会が行われました。

カルガモの会から、早川さん、菅原さん、井上(文)さんの3名で出場しました。大会には25チームが参加。「カルガモの会」チームは、顔なじみのチームと一緒にリーグ戦を戦い、3位で通過しました。

トーナメント戦で、ベスト4で負けてしまいましたが、回りのチームとの地域交流ができました。



イベント委員 井上(文)

新メンバーの紹介

平成29年3月から4名の方が『カルガモの会』の新しい仲間に加わりました。皆さん宜しくお願いします。

名前 : 角田久美子
出身地 : 川崎市
趣味 : 花、風景等をカメラで撮る
カルガモで望むこと : 現状で！
一言 : 色々な事を体験したい



名前 : 鈴木 伸二
出身地 : 横浜市
趣味 : バイク
一言 : 楽しくやりたいです



名前 : 水野 裕子
出身地 : 横浜市
趣味 : 映画を見る事
一言 : よろしくお願ひします



名前 : 渡辺 昇
出身地 : 横浜市
趣味 : 別になし
カルガモで望むこと : 色々と勉強させて
もらいたい
一言 : とにかくやっていこう



<訃 報>

メンバーの井上仁さんが2月8日に永眠されました。

65才でした。

11月からご自宅で療養している中、12月26日の夕方カルガモに顔を出し少しお話をした後、「家でやるから」とやりかけの銅版と版画カレンダーを持ち帰られました。

年が明けた1月5日に電話で銅版と体調についてお話をしたのが仁さんとの最後の会話となってしまいました。

ご自宅で訪問診療やヘルパーを利用しながら最後まで仁さんらしく、ご自分のペースで過ごされた様です。亡くなる前日にはお風呂に入り翌8日の夕方静かに息を引き取ったそうです。

仁さん、煙草のことでは何度もバトルを繰り返しましたね。バスハイクでは不慣れな電動車椅子で参加して、周りもヒヤヒヤさせられました。私がメンバーさんのお土産を買っている際に、自分で操作して走りだした時には思わず大声で叫んでしまいました。でもそれも今となっては懐かしい思い出です。

心よりご冥福をお祈りいたします。

